

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第1回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

- ・中郷区総合事務所の職員体制について
- ・令和5年度 中郷区における主な事業について

（2）協議（公開）

- ・令和5年度の取組方針について
- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和5年4月13日（木）午後6時30分から午後20時5分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、漆間和美、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一（欠席2人）
- ・ 事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、兒玉産業建設業務窓口班長、早川税・市民生活班長、高橋福祉班長（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認を漆間和美委員と岡田龍一委員に依頼。

報告事項（1）中郷区総合事務所の職員体制について、事務局に説明を求める。

【高波所長】

人事異動に伴う 4 月 1 日現在の総合事務所の職員体制を報告し、新たに着任した加藤次長、早川班長、石川主任、村松保健師を紹介。

【竹内（靖）会長】

次に報告事項（2）令和 5 年度 中郷区における主な事業について、事務局に説明を求める

【加藤次長】

資料No.1 を基に、全 68 事業の中から市民生活に密着するものを抜粋し説明。

【高橋（達）委員】

昨年度、「消融雪施設の整備促進及び特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用に関する意見書」を市長に提出したが、令和 5 年度予算の中に特定防衛施設周辺整備調整交付金を使った事業はどの程度あるか。

もう 1 点、予算化するにあたり地域協議会との事前調整を希望したが、今年度の予算要求にどのように反映しているか。

【加藤次長】

特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用については、資料No.1 の 31 番の消融雪施設管理費に記載した金山中央 1 号線の消雪井戸更新工事に 22,000 千円を充当する。もう一つ、54 番のは一とびあ中郷の管理運営費に記載した駐車場整備工事に 25,000 千円を充当する。

予算要求時に地域協議会との事前調整を希望するのご意見について、例えば、消融雪施設の管理において、市は、消融雪施設等整備計画を作成し優先順位を付けた上で、地域の声や現場の状況を勘案し、優先順位の見直しを行いながら予算要求している。地域協議会の場に限らず、いただいた声は、できるだけ反映しながら予算要求につなげていきたいと考えている。ご協力いただきたい。

【高橋（達）委員】

市道、県道において部分補修が多く、損傷が目立つ。住みやすい地域を目指すことを考え、全面的な改修の優先順位を上げてほしいとの思いから質問した。全体的な優先順位があることや予算要求のスケジュール等も確認できたが、地域の意見を今後も予算要求につなげていただきたい。

【加藤次長】

事業それぞれの計画があり、予算要求の際は、現場確認や地域の意見を聞きながら優先順位を間違えないように取り組んでいきたい。

【高波所長】

昨年、地域協議会委員から県道に係る相談があったが、私自身が振興局に出向き直接訴えた例もある。その時は、県の担当者も現場確認に来るなど改修に向けて動き出し具体的な対応まで話が進んだが、現場での町内会の話から事前調査が必要となり、現在動きが止まっている。県道や国道についても、意見や要望は確実につないでいることをご理解いただきたい。

【竹内（靖）会長】

数年前に消雪パイプ用の井戸の改修を要望したことがあるが、市の中で古いものから順番に改修すると強く言われたことがあったが、今年度の予算で、中郷区の井戸の更新に予算が付いたことは、協議結果を意見書として提出した効果があったものと感じる。

は一とぴあ中郷の駐車場工事については、は一とぴあ中郷の利用者にできるだけ配慮したスケジュールを組んでいただきたい。

【兒玉班長】

特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用について、消融雪設備の更新に向け、中郷区総合事務所独自の調査を始めた。消融雪設備整備計画などに用いるための優先順位を検討する資料とする。今冬から始めたばかりだが、継続して取組み確かな根拠としていく。

【竹内（靖）会長】

昨年実施した住民アンケートでも、雪に対する不安は、最も多く寄せられた意見である。雪は中郷区の課題でもあり、総合事務所も力を入れていることなので、今後もコミュニケーションを取りながら課題解決に向けて進んでいきたい。

次に、協議に移る。(1) 令和5年度の取組方針について、事務局から説明を求める。

【桐山班長】

令和5年度の取組方針のほか、関連する2項目についても説明する。

1 点目。現地域協議会委員の残り任期が、令和 6 年 4 月 28 日までの約 1 年間となった。昨年度、市は新たに地域自治推進プロジェクトを立ち上げた。これを受け、中郷区地域協議会では住民アンケートを実施し多くの意見を集約するとともに、アンケート結果への対応のほか、地域独自の予算や意見書の提出などの取組を進めた。今年度の地域協議会の方向性を総合事務所職員と共有させていただきたいとの思いから、今年度の取組方針について協議していただきたいと考えた。

2 点目。地域活性化の方向性を作成したことや令和 4 年度の活動内容をまとめた地域協議会だより第 62 号の案を作成した。本来であれば、編集委員に集まっていたいただき作成するものであるが、町内会長に配布をする 4 月 20 日発送の文書としたいとの思いから、事務局が編集し、会長及び副会長から事前確認いただいた内容である。記事の内容等については、本日、持ち帰っていただき、修正箇所等の意見があれば 4 月 17 日の月曜日までにいただきたい。

3 点目。前回の地域協議会で懸案となった、屋根の雪下ろしの際に必要な命綱固定アンカー設置について、建築住宅課で作成した補助金のチラシを資料として配布する。

【竹内（靖）会長】

令和 5 年度の取組方針については、任期に縛られる必要はないと思うが、地域活性化の方向性を定めたこともあり、ひとつのけじめとして、テーマを絞って何か形づけられることが出来たらよいと考えている。

任期後、委員を継続するかしらないかの判断は、委員個人の判断によるものになるが、これまでの地域協議会の活動を引き継いでいく次の人材についても検討する 1 年にしていただきたい。

今年度の取組方針について、口火として、私の考えからお話しする。アンケート結果や 3 月 11 日に開催した活動報告会での意見を踏まえ、豪雪地帯である中郷区の雪に対する課題に取り組みたい。屋根の雪下ろしなど除雪に困っている人は多い。中郷区に必要な対策等を議論し住みやすいまちづくりにつなげる方法を模索したい。

【荒川委員】

私も雪に対する思いが強い。地元の町内会でも困っている人を見ている。

【漆間委員】

私の家の屋根の雪下ろしは、業者に頼んでいるので感慨深い。雪の話で思い出したが、家の近所で流雪溝のふたが劣化し、市の職員に他の場所のふたと交換してもらったことがあり助かったことがあった。

【岡田委員】

岡沢町内会では、若手を中心にボランティアを募って除雪をする話が出たが、

実際に実行されたかは定かではない。除雪に関しては、時期が集中することにも課題があると思う。

雪の他にも、公共交通に関しても喫緊の課題と考える。

【高橋（京）副会長】

雪に関しては重要な課題であるが、私の中では、解決方法の見通しが付きにくいとの思いが強く、じっくり時間をかけて議論する必要があると感じている。

私は、子ども達の居場所づくりについて考えたい。先日、テレビで小1の壁などの問題が取り上げられていたが、中郷区の中でも、安全で安心できる居場所づくりを考えていかなければならないと感じている。

【村越委員】

せっかく地域活性化の方向性を協議し、構成要素として4つの柱を決めたので、何かひとつに絞って、形になるものを協議していきたい。それが、雪のことなのか子育てや子どもの居場所のことなのかは、委員の意見で決めていければよい。

【高橋（達）委員】

任期を考えると、絞り込みをすることは必要と考える。私は、地域独自の予算に提案した巡回タクシーやアンケート結果にもあった居場所づくりにもつながるひばり荘の再開について、協議を進めたい。また、施設の活用という面で、はーとぴあ中郷の活用についても、設備の更新計画などが必要ではないか。

雪に関しては、総合事務所に寄せられた要望等をまとめていただき、地域協議会に資料として提供していただくことも有効ではないか。委員だけで考えていても、なかなかまとまらない。

【竹内（昭）委員】

雪に対しての協議が大切だと感じる。また、公共交通についても、身近な課題である。自分の親は、90歳になってようやく免許を返納したが、生活を守るために免許返納が出来ない高齢者も見受けられる。解決策までいかないかもしれないが、協議を進める必要があると考える。

【陸川（昇）委員】

雪に関しては協議が必要な課題であるが、子どもの居場所づくりに絞っても良いと考える。放課後児童クラブが小学校内にあるが、子どもたちの適切な居場所になっているか、改めて考える必要があると思う。

【高橋（京）副会長】

先ほどの私の意見について、補足をする。地域活性化の方向性を定め、構成要素を見返したときに、もっと地域のいろんな人と地域協議会委員の意見のキャッチボールできる場が必要ではないかと感じる。特に構成要素を形にするためには、

もっともっと生の声を聞く必要があると感じるので、意見を聞ける場を増やしていきたい。地域活性化の方向性として掲げた「未来へのバトン」という言葉から、12人の地域協議会委員それぞれが持っているバトンを次の世代につなげるためにも声を聞く場が必要と考える。

【竹内（靖）会長】

私が、最初に雪対策について協議したいと言ったことは、実は、皆さんの反応を見たかった思いもあった。しかし、皆さんの意見や反応を見て、雪対策について話し合う1年間は面白くないと感じた。面白くないという言葉には語弊があるが、地域活性化の方向性に掲げた構成要素を大切にしたい。皆さんの意見を聞いて、子どもたちの居場所づくりという、みんなで一つのものに向かって進んでいきたい。それぞれの委員から話のあった、雪対策、ひばり荘、はーとぴあ中郷、公共交通も観点を変えれば、居場所づくりの協議を進める中で話し合う大切な要素であると思う。また、昨年、委員を3分科会に分けたが、今年度は、分科会には分けない。ひとつの方向を目指し、あらゆる分野を探り、いろんな意見を聞きながら、望むべき姿を導いていくこととする。

地域協議会だよりにについては、事務局で作成した内容に、高橋（京）副会長の編集後記を追加し、4月20日の町内会長に配布する文書として発行する。

【桐山班長】

今年度の地域協議会だよりの発行については、9月25日、12月または1月、年度末となる3月に発行する計画でよいか。

【竹内（靖）会長】

地域協議会だよりの発行については、事務局提案の予定で発行する。今年1年は、子どもの居場所づくりに向け、現委員4年間の集大成として、いろんな意見を聞く機会を増やしていくので、みなさんの協力をお願いします。

雪対策について決して何も議論しないということではなく、事務局、宮川委員、岡田委員と私でプロジェクトチームを組むので、話し合う時間をいただきたい。

次に、協議（2）自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」についてに移る。

一般社団法人中郷区さとまる学校理事長の立場で述べる。一般社団法人中郷区さとまる学校が企画運營業務を受託した巡回ツアーについて、4月16日に1回目の運行を行う。来月は、5月20日に二本木駅で行われるスイッチバック市に合わせた運行を計画している。チラシでの呼びかけもするが、しばらくは、個別に声かけも行いながら実施することになる見込みである。夏休み期間中は、子どもたちを対象にした企画も検討している。実施状況や寄せられた意見等については、随時、地域協議会の場で報告していきたい。

本日、宮川委員から自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」

に関し、配付された資料の説明を求める。

【宮川委員】

上越市創造行政研究所が作成した中郷区の人口・世帯に関する基礎データを見ていただきたい。このデータを見ると、中郷区においては、高齢者の足の確保を真剣に考えなければいけないと強く感じる。次に、行政の仕組みにも問題があるということで、バス 110 番と自治体のバス問題の資料を見ていただきたい。仕方ないことではあるが、人事異動により自治体担当者が換わるとその担当者が培ったノウハウが引き継がれずに事業が後退してしまう例が多いことと、予算が単年度であることにも問題があるという内容が書いてある。次の資料は、他の自治体で工夫して実施している事業例である。今後の議論の参考になると思いまとめた。詳細は、持ち帰って読んでいただきたい。

【竹内（靖）会長】

まずは、宮川委員の気持ちに感謝したい。自治体担当者の異動の話もあったが、地域協議会が継続して進めていくことが大切だと思っている。

【桐山班長】

地域独自の予算として提案した巡回ツアーの検証方法について、現時点で協議が必要ではないか。

【岡田委員】

実際に巡回ツアーの運行が始まっていない。始まってから、利用者の生の声を聞きながら改善点などを見つける方法でよいのではないか。

【竹内（靖）会長】

巡回ツアーの運行を3カ月程度実施した後、利用した人の生の声を集め、今年の議論にも上がった予約のわずらわしさなど、利用者の思いを探っていくことでどうか。

【陸川（昇）委員】

予約の際の電話がネックだと思う。番号を押すことが、高齢者にとって面倒なこととなっていると想像する。ツアー企画は、利用者に行ってみたいところを聞くことも良いことではないか。

【桐山班長】

宮川委員からいただいた資料の中に成功例を真似するだけでなく、その地域に合ったやり方を見つけないと成功しないとの記事があった。交通政策課から、上越市の公共交通政策について説明を受けることも、今後の協議に活かせるのではないか。

【竹内（靖）会長】

ぜひ、交通政策課の話聞き見識を深めたい。調整をお願いする。

【加藤次長】

宮川委員から配布された資料の中に、バス 110 番と自治体のバス問題と表題のある資料中に、バス 110 番名簿がある。過去に、その中のお一人と交流があったので話を聴きたい要望があれば依頼できる可能性がある。私が 11 年前、中郷区に勤務していた時に、中郷区総合事務所だよりに公共交通の記事を書いた。その時はまだバスも走っていたが、現在は、乗合タクシーさえ厳しい状況にある。地域の課題は、絶え間なく議論を続け、絶え間なく見直していかなければならないと思っている。また、学びも絶え間なく続けなければならぬと感じている。公共交通の課題解決に向けて、地域協議会の力を貸していただきたい。

【竹内（靖）会長】

情報キャッチはとても重要である。宮川委員が用意していただいた資料がきっかけで、改めて思い出すことが出来た。加藤次長の言うとおりに、絶え間なく学んでいこうと思う。

以上で、本日の協議は終了する。その他、あるか。

【加藤次長】

来週、4月21日に中郷区で移動市長室があるが、現在、11～12組の申し込みを受けており、最終調整を行っている。

【恩田班長】

住民アンケートにも要望として挙がっていた J C V 視聴エリア拡大に関して、事業者から降雪前に回線敷設の工事を終わらせたい旨の連絡を受けた。詳細は未定だが、来週予定されている中郷区町内会長連絡会議でも報告する予定。

【桐山班長】

本日の配布物を確認。

【竹内（靖）会長】

以上で、本日の地域協議会は終了とする。次回の地域協議会は、5月24日（水）18時30分からとする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。